# 2008年2月29日リリース報告書

このドキュメントはアップデイティット株式会社が著作権を有します。

# 1 2月29日 リリース内容

## 1.1 機能追加

### 1.1.1 コネクションを大幅に作り変え、改善要望および不具合に対応しました。

コネクションを一から作り変え、制約事項や不具合を解消しました。対応した案件は以下のようになります。

表1.1.1.1 2008年2月29日リリースにおけるコネクション関連の修正内容一覧

| 管理番号 | 分類 | | 概要 | 発生日 |
|---|---|---|---|---|
| #1541 | エディタ | | ある操作をするとコネクタがとびだす。 | 2008/1/10 |
| #1482 | エディタ | | コネクションが印刷されない | 2007/12/30 |
| #959 | エディタ | 改善 | コネクションが Visio ライクなベンドポイントで接続できるようにする | 2007/10/6 |
| #433 | エディタ | 改善 | コネクションのプロパティ設定 | 2007/7/19 |
| #1265 | エディタ | | 円にコネクタを接続した場合に、離れる | 2007/11/20 |
| #1247 | エディタ | 改善 | コネクタが引きにくい。必ずオブジェクトとオブジェクトの間にしか引けない | 2007/11/19 |

今回の対応で、S字型に曲がるコネクションが追加になりました。またコネクションの接続ポイントが、図形の中心だけでなく、その周りの部分に接続できるようになりました。さらに両端に矢印の付いたコネクションや、逆に矢印のまったくないコネクションも引けるようになりました。

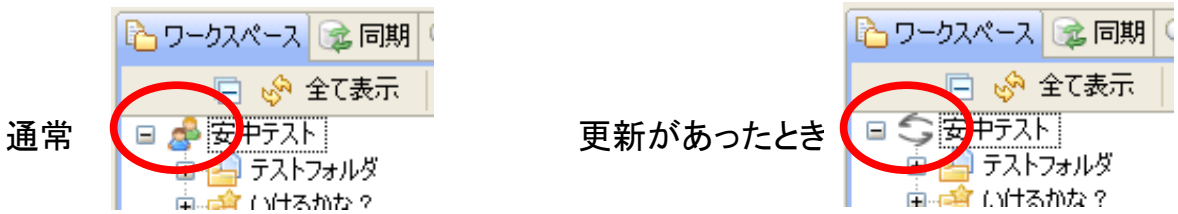
なお、鍵状に折れ曲がるコネクション（マンハッタン型）は、次回のリリースでの対応となります。
今しばらくお待ちください。

このドキュメントはアップデイティット株式会社が著作権を有します。

### 1.1.2　更新されていることがわかるようにしました。

プロジェクトで何かが更新されている場合に、そのプロジェクトのアイコンを変更してそれがわかるようにしました。

**図1.1.2.1　プロジェクトに更新があったとき**




まず、ログイン直後にチェックします。それ以降は10分おきに定期的にチェックします。

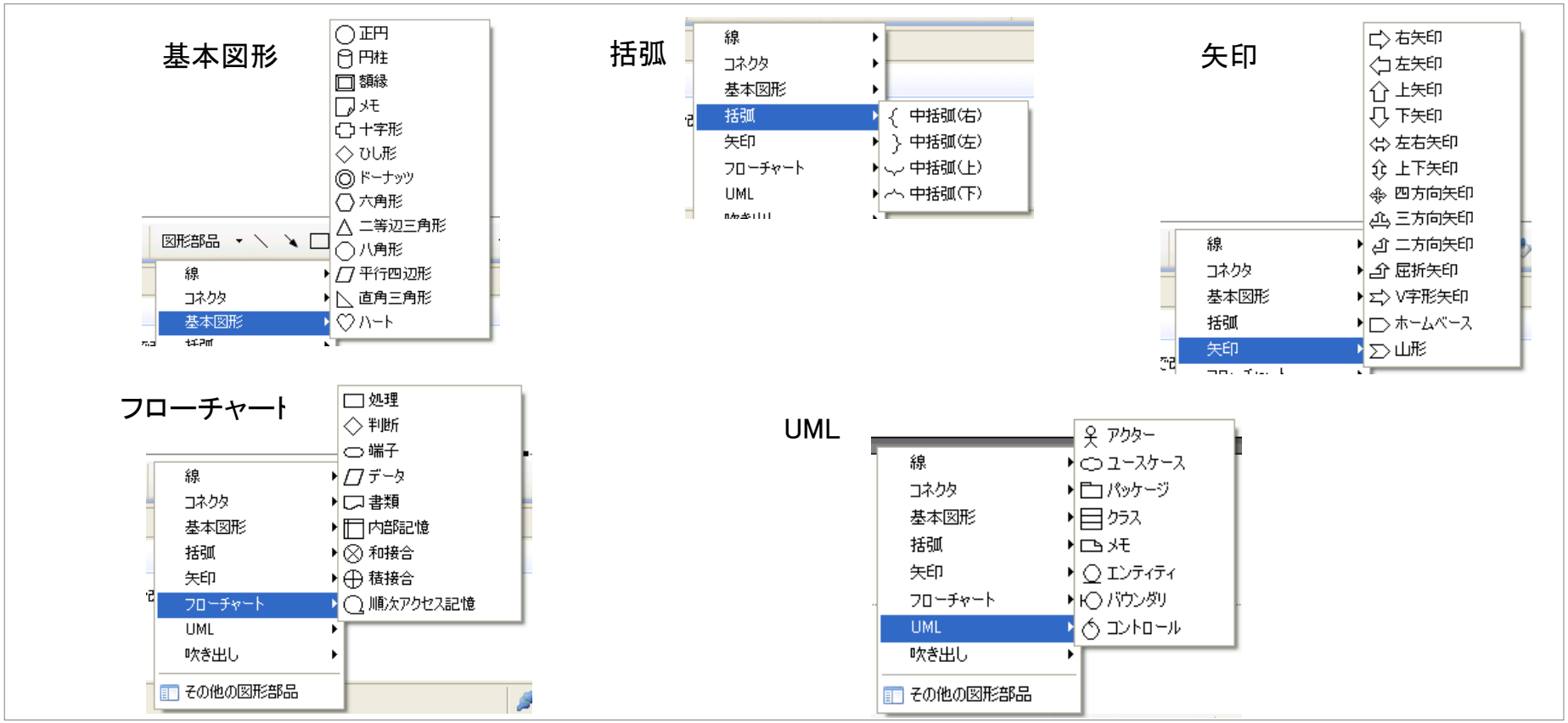
アップデートを実行すると、通常のアイコンに戻ります。

### 1.1.3　図形部品を増やしました。

**図1.1.3.1　図形部品の一覧（1）**

このドキュメントはアップデイティット株式会社が著作権を有します。

図1.1.3.2　　図形部品の一覧（2）




なお図形部品は今後も増やしていく予定です。

### 1.1.4　Proxyを介した接続時の改善

Proxyを介して接続する際にSSLトンネリング方式で接続する方式に変更しました。

このドキュメントはアップデイティット株式会社が著作権を有します。

## 1.2 機能改善及びバグの修正

表1.2.1 2008年2月29日リリースにおける修正点一覧

| 管理番号 | 分類 | | 概要 | 発生日 |
|---|---|---|---|---|
| #1673 | エディタ | | 線形部品の作成時、グリットにスナップしない | 2008/2/15 |
| #1650 | エディタ | | 図形のスナップ処理が変 | 2008/2/8 |
| #1702 | エディタ | | 図形部品について縦横比を固定することができるようにする | 2008/2/26 |
| #1703 | エディタ | | 図形を新規追加直後のプロパティが不正 | 2008/2/26 |
| #1679 | ワークスペース | | 登録直後の外部ファイルの場合、コミット時の編集継続ダイアログが表示されない | 2008/2/18 |
| #1567 | ワークスペース | 改善 | ドキュメント・ステータスの変更が履歴に表示されるようにする | 2008/1/22 |
| #1677 | ワークスペース | 改善 | 外部ファイルを取り込んでいる際にステータスバーにフィードバックを表示する | 2008/2/15 |
| #1693 | エディタ | | あるドキュメントを開いたときに例外がでるようになった | 2008/2/25 |
| #1669 | エディタ | 障害 | テーブルの操作中に例外 | 2008/2/14 |
| #1685 | ワークスペース | | 外部ファイルを開こうとしたときに例外 | 2008/2/21 |
| #1675 | エディタ | | プロジェクトキーワードが連続している間を操作すると不正な状態になる | 2008/2/15 |

上記の表で、「障害」となっているのは障害報告が送られてきた問題への対応です。

このドキュメントはアップデイティット株式会社が著作権を有します。